

平成22年度 一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

4項 医薬費

2目 医務費

医療政策課 (内線：7172)

(単位：千円)

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
|-----------------------------------|----------------------------|-----|----------|---------|----|---------------------|------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| (新) 広域災害救急医療情報システム (EMIS) 整備事業 | (19,141) | (0) | (19,141) | | | <基金繰入金> (19,141) | | |
| トータルコスト | 20,755千円 (前年度-) [正職員：0.2人] | | | | | | | |
| 主な業務内容 | 契約手続、関係機関連絡調整等 | | | | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 安心安全な医療提供体制の構築 | | | | | | | |

事業内容の説明

【「鳥取県地域医療再生基金」充当事業】

1 事業の目的・概要

大災害が発生した場合に、早急に被災地内外の医療機関の稼働状況などを収集・提供し、迅速かつ適切な医療救護活動を支援するために厚生労働省の全国的なインターネットを活用したシステムである広域災害救急医療情報システム (EMIS) を導入する。

2 主な事業内容

広域災害救急医療情報システム (EMIS) を導入し、大災害発生時の患者搬送、支援の要請 (他県への支援を含む) に役立てる。

併せて、既に導入済の救急医療情報システムを改修し、広域災害救急医療情報システム (EMIS) と接続する。

○システム概要

- ・災害発生時に被災地内・外における医療機関の稼働状況など、災害医療に関わる情報を収集、提供し、被災地域での迅速かつ適切な医療救護活動を支援することを目的としているシステム。

→阪神淡路大震災での教訓を基に厚生労働省が作成したシステム。

(システムで取り扱う情報)

- ・医療機関建物・施設被害の有無
- ・患者収容の可否 (手術受入可否、人工透析可否、受入実績、転送必要患者数)
- ・医療機関ライフラインの可否
- ・災害派遣医療チーム (DMAT) 管理機能

○システムの活用方法

- ・災害が発生した場合、各病院は早急にEMISにより被災状況・患者収容の可否などを入力。
- ・医療機関、消防はEMISを活用し、患者搬送を行う。
- ・国、他県はEMISを活用し、支援 (広域搬送、DMAT派遣) を行う。

○全国の加入状況

- ・39県加入済

○予算額 19,141千円

- ①EMIS使用料 5,040千円
- ②救急医療情報システムサーバ使用料 971千円
- ③EMIS初期導入費 1,488千円
- ④救急医療情報システム改修費 11,642千円

広域災害救急医療情報システム (EMIS) 活用イメージ

